

農林水産大臣 江藤 拓様

異常な市場の米価高騰を解消するとともに、学校給食の安定実施のために、
政府備蓄米放出の強化を求めます

2025 年 4 月 23 日
新日本婦人の会会長 米山 淳子

政府備蓄米の放出が実施されています。しかし店頭の米価は全国平均で 4217 円/5 キログラム（4 月 7 日～4 月 13 日）と連続 15 週で値上げとなり、また米の入荷自体が依然として少ない店舗が圧倒多数で、品薄状態が続いています。主食でありながら「米が高すぎて家計が厳しい」「備蓄米をもっと流通させてほしい」という声は、多くの消費者の思いです。米の安定供給、米価安定は国の責任です。

また各都道府県の「学校給食会」への調査（日本農業新聞）では、米不足と米価高騰で米飯給食の実施回数が減少、他の食材の購入を圧迫しているため、おかずやデザートとの質と量の低下や栄養バランスの取れた献立作成が困難となり、また各地での地産地消の動きにも影響を与えています。さらに給食費の値上げにもつながったとの回答もあります。

給食実施に大きな役割を果たしている学校給食会が「財政がかつてないほど赤字になった」「県に補助を交渉したがダメだった」「年間の希望数量を調達できていない」など悲鳴を上げていることも重大です。学校給食は教育の一環であり、子どもたちの健やかな成長を支えています。異常な市場の米価高騰を解消し、学校給食の安定的な実施のために、以下要請します。

- 1、国民が一刻も早く、米を入手しやすい価格で安定的に購入できるよう、政府備蓄米の放出量を抜本的に増やしてください。
- 1、学校給食の米飯給食を安定的に実施できるよう、優先的に備蓄米を供給してください。